

12市町合同で『平成30年度健康危機管理研修』を実施しました！

日時：2018年12月3日（月）（13：30～16：30）

場所：岸和田市立浪切ホール 4階 交流ホール

参加者：和泉市、泉大津市、高石市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町及び岬町の危機管理系職員と保健師、大阪府職員：計64人

ファシリテーター：建築学科学生11名+大学院生2名+教員2名（計15名）

今回の見どころ

健康危機管理研修とは、保健所が主催し被災地の公衆衛生の復旧を早めるために実施する災害研修です。今回は、大阪府南部地域の12市町合同で実施しました。日常業務でコラボすることの少ない市町の保健師と危機管理系職員が一緒になって災害時の被災者の健康危機管理に挑みます。災害発生後の各市町を応援する立場で、大阪府内3保健所等の職員も各市町班に合流し、一緒に研修を受けます。当初の研修日(9/10)に台風21号がこの地域を直撃しました。その結果、研修が12月に延期になった為、この地域の台風被害調査を行い、研修プログラムに盛り込みました。

プログラム実施風景



初めに台風調査結果（樹木の倒壊、外壁の剥離、電柱が折れているなど）について説明しました。



各市町の地図に発生した被害（火災発生、電柱が倒れて停電が発生しそうなど）を付箋に転記し、整理しています。



被害整理後、個々が共感した被害について、回答してもらいました。「火災発生」に1番共感が集まっていました。



避難所内の問題（嘔吐や発熱の人がいる）を赤・黄・緑で優先度付けし、対応部署を決定してもらいました。



わからないことがあればすぐに私たちに聞いてくれました。とても真剣に取り組んでいることが伝わりました。



最後の発表では、発表者が災害時の交通機関の問題（道路の寸断）について話していました。

プログラム実施結果

プログラム終了後、私の担当班の参加者が「この研修を自分の市の職員をもっと集めて改めて行いたい」と希望してくれました。この研修の良さを伝えることができたと思います。プログラム開始前は、初めてのファシリテーターとしてとても不安が大きかったです。参加者の皆さんが真剣に取り組んでいたのが「その気持ちに応えたい」との思いが強まりました。私も参加者同士の会話に積極的に加わるようにし、参加者の意見を聞くことで素朴な疑問に改めて気がつけました。今回の研修で学んだ事を生かし、次の研修では全ての方々に「後日、実施したい」と言ってもらえるようなファシリテーションを目指したいです。

今回の研修に参加し、とても貴重な経験ができました。助けてくださった先輩方、参加者の皆様、本当にありがとうございました。